

出産一時金 増額検討へ？

いつもお世話になっております。

厚生労働相より閣議後の記者会見で、出産した人に子ども1人あたり42万円を公的医療保険から給付する「出産育児一時金」の金額引上げを議論する考えが示されました。

出産育児一時金は1994年に創設され、支給額は当時の国立病院の平均分娩料を根拠に30万円と設定されました。その後、出産数の減少による病院経営上の理由などで出産費用が上昇。支給額も段階的に増額され、2006年に35万円、2009年に42万円となりました。2015年に増額が検討されましたが、財源不足などで見送られたそうです。

国民健康保険中央会によると、2016年度の出産費用(正常分娩)の平均額は約50万6千円。都道府県別では東京が62万2千円と最も高く、最も低い鳥取県は39万6千円とのことで、開きがあります。

このような現状を踏まえ、与党内では50万円を軸とした増額を求める声が強まっているとのことです。

検討段階ですが、このような案も出ているようです。
一度見送られたこともあるようですが、
少子化対策になればいいですね。



メールマガジン配信希望の方は下記のメールアドレスまで「連絡くださいませ。」